

鳥取県倉吉市

中心市街地活性化基本計画概要

【3期計画:令和7年4月～令和12年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

美術館のある新たなまちの市街地活性

～歴史とアートを巡る賑わい創出～

【自治体の概要】 人口:44,180人(R6.1月・住民基本台帳)、面積:272.06km²

- ・室町後期、地元の国人南条氏によって本格的な城下町が形成。江戸時代、池田藩の家老の陣屋町として明治維新まで職人、商人の町として発展。
- ・美しい日本の歴史風土100選に選定された伯耆国の国庁跡、国分寺跡、陣屋町、倉吉の街並みがあり、白壁土蔵群・赤瓦周辺の街並みは重要伝統的建造物群保存地区に選定。平成17年に東伯郡関金町を編入合併。

【中心市街地の課題等】

○人口減少及びコミュニティの衰退

生産年齢人口の減少による地域経済活力の低下、高齢者増加にともなう地域の共助力・防災力の弱体化への対策が必要

※社会増減数 H27～H31:△177人→R2～R6:△25人

○観光来街者数の伸び悩み

観光等による来訪者数も伸び悩む傾向にあり、従来からの観光施設及び新たに整備した施設の双方連携による集客及び周遊策が必要

※中心市街地主要6施設の観光入込客数 H30:383,300人→R5:304,900人

○地域の担い手となる新規創業者の確保

中心市街地の商業機能、サービス産業の停滞、また、増加する空き家や空き店舗による防災・防犯上の問題への対策が必要

※新規創業者数 H27～H30:6.8件/年→R2～R5:10.5件/年

【第3期計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値(実績)	目標値
積極的に住みたくなる暮らしの賑わい再生を目指すまち	中心市街地全体の人口の社会増減	△25人/5ヶ年(R2-R6)	+90人/5ヶ年(R8-R12)
歴史的資源とアートを活かし観光機能の向上を目指すまち	中心市街地主要12施設の観光入込客数	866,300人/年(R5)	1,280,000人/年(R11)
多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち	中心市街地における創業事業所数	平均10.5件/年(R2-R5)	平均15件/年(R7-R11)

【中心市街地活性化の方針】

【街なか居住の推進】積極的に住みたくなる暮らしの賑わい再生を目指すまち

生活環境の整備、移住定住支援、多様な主体が支え合う環境づくりを行うことで、市外や県外からも魅力を感じて新たな移住者・定住者が増え続けるような生活環境を備えたまちを目指す。

⇒目標:【人口の社会増減】 全10事業

【賑わい創出】歴史的資源とアートを活かし観光機能の向上を目指すまち

観光客がゆっくりと周遊・滞在し、倉吉ならではの歴史的資源・文化や芸術を体験し楽しめる環境を整備し、インバウンドを含めた観光入込客数や宿泊者数の増加及び消費の拡大へとつながるまちを目指す。

⇒目標:【観光入込客数】 全32事業

【経済力向上】多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち

産業・経済活動の健全な維持・継承を図るとともに、将来の倉吉の産業・経済の高付加価値化や独自性の確立へとつながる新たな息吹とするため、新たな事業活動等の起業、誘致を推進するまちを目指す。

⇒目標:【創業事業所数】 全11事業

【第2期計画目標と数値】

目標指標	基準値(1期計画時実績)	目標値	直近の実績
中心市街地全体の人口の社会増減	△177人/5ヶ年(H27-H31)	±0人/5ヶ年(R3-R7)	△25人/5ヶ年(R2-R6)
中心市街地主要6施設の観光入込客数	383,300人/年(H30)	421,400人/年(R6)	304,900人/年(R5)
中心市街地における創業事業所数	平均6.8件/年(H27-H30)	平均10件/年(R2-R6)	平均10.5件/年(R2-R5)

